

# 第66期

# 年次報告書

2011年4月1日～2012年3月31日

SEIKAGAKU CORPORATION

(証券コード：4548)

## 糖質科学で未来を創る

P3 10年ビジョンの  
第2ステップとして  
新中期経営計画を策定



# 糖質科学で未来を創る

生化学工業は、複合糖質の重要性がまだ解明されていなかった半世紀以上前から糖質科学に着目し、医薬品開発への応用研究を進めてきました。この独創的な創薬への挑戦を通じて、世界の人々の健康で心豊かな生活の向上に貢献するとともに、「グローバル・カテゴリー・ファーマ」としての発展を目指していきます。

SPECIALIZED FIELD

糖質科学を専門分野とする  
製薬企業です。

R&D

研究開発・製造に特化した  
ビジネスモデルを展開しています。

HIGH QUALITY

高品質な製品を生み出す  
高い技術力を持っています。

## 糖質科学

糖鎖や複合糖質を研究する科学分野です。近年、重要性が認識され、多くの病気と糖鎖との関係にも注目が集まっています。糖質科学の研究が進むことで、新しい治療法や診断法の開発につながる事が期待されています。

## グローバル・カテゴリー・ファーマ

研究開発を得意分野に絞り込んで国際競争力の強化を図る新薬開発企業を意味します。厚生労働省の「新医薬品産業ビジョン」において、今後生き残っていく製薬企業の姿の1つとして提言されています。

# 「生化学工業10年ビジョン」の達成を目指し 新たなステップへと歩みを進めてまいります

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2009年3月に策定した「生化学工業10年ビジョン」のもと、糖質科学分野に研究開発の焦点を絞り、国際競争力を確立する「グローバル・カテゴリー・ファーマ」としての発展を目指しています。

当期(2011年4月～2012年3月)は、国内外における関節機能改善剤の販売数量が増加したものの、円高の影響や研究用試薬事業廃止などにより売上高は前期並みとなりました。一方で、利益については、主に研究開発費や前期にあった東日本大震災に伴う特別損失の減少などにより増益となりました。

10年ビジョンの第1ステップと位置づけた中期経営計画(2009年度～2011年度)の最終年度にあたる当期は、震災や円高などの影響もあり、数値目標は達成できなかったものの、施策面では、関節機能改善剤アルツが国内での販売数量を伸ばすとともに、中国向け輸出も成長し、需要拡大に対応した生産設備の増強にも着手しました。また、単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンが米国で承認を取得したことに加え、腰椎椎間板ヘルニア治療剤「SI-6603」の国内開発が最終段階となり、米国での臨床試験も進展しました。このほか、米国子会社アンシエーツ オブ ケープ コッド インクにおいて、着実に利益を生み出せる体質が定着するなど、経営目標としていた「基礎体力の養成と体制の構築」については、一定の成果をあげたものと認識しています。

来期以降は10年ビジョンの第2ステップとして、4ヵ年の新中期経営計画(2012年度～2015年度)のもと、重点戦略に対して積極的な投資を行い、「10年ビジョン達成に向けた萌芽形成」、すなわち成果の芽を出すことに取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

水谷 建

## 利益配分に関する基本方針

当社は、これまで配当性向を重視した業績連動型配当政策のもと、1株当たり年間20円をベースに配当性向30%を維持しつつ、さらなる向上を目指してきました。近年の経営をめぐる状況の変化を踏まえて、新中期経営計画初年度にあたる2013年3月期からは、1株当たり25円を基本とし、安定的な配当を目指す方針に変更いたします。

※新中期経営計画については3～4ページをご覧ください。

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期 (予想)
1株当たり年間配当金	25.00円	25.00円	25.00円
【内訳】	中間配当金	12.50円	12.50円
	期末配当金	12.50円	12.50円
配当性向	57.9%	43.4%	64.6%

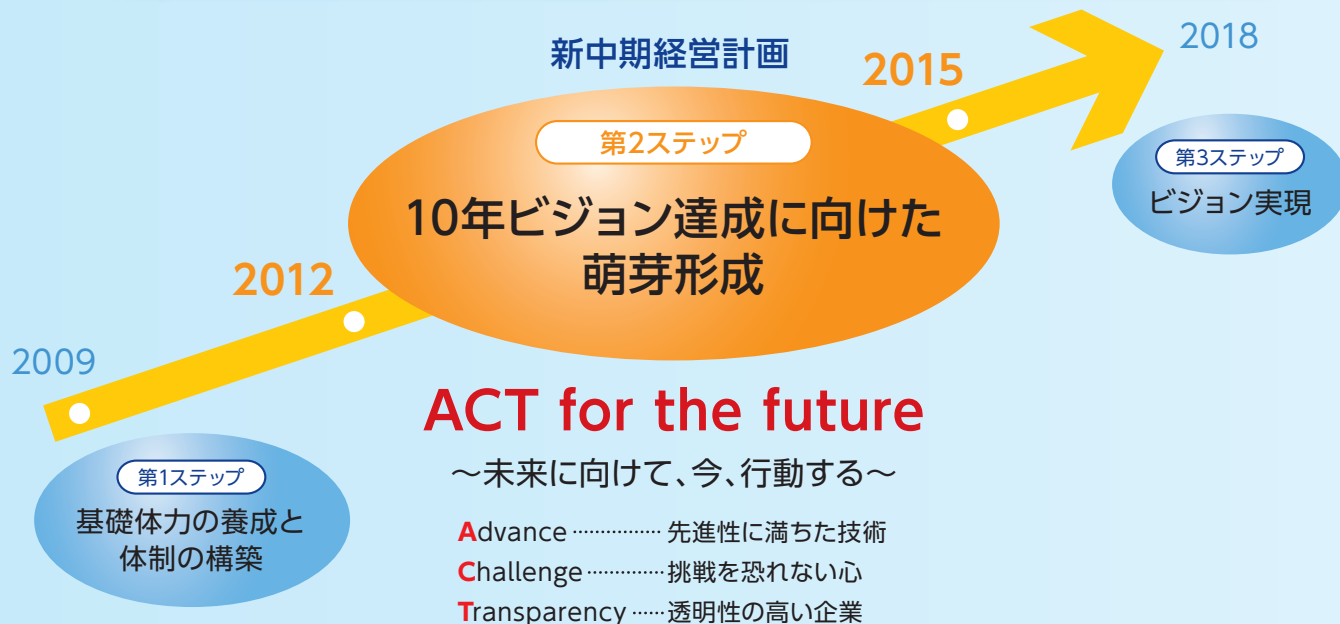
「生化学工業10年ビジョン」の達成に向けた第2ステップとして、2012年4月から始まる4ヵ年の新中期経営計画を策定しました。本計画では、研究・開発・生産・販売の各重点戦略に対して積極的な投資を行い、成果の芽を出すことに取り組みます。

## — 生化学工業10年ビジョン —

### “グローバル・カテゴリー・ファーマ”

糖質科学に研究開発の焦点を絞って、国際競争力を確立する

コンスタントなペースで新薬(医療機器を含む)を上市し、  
3年程度に1つ経営の柱となり得る市場を開拓できる実力を涵養する



## 新中期経営計画(2012年度～2015年度)における全体戦略と数値目標

### ●全体戦略

～各重点戦略に対して積極的に投資し、確実に“成果の芽”を出す～

#### 研究

- 糖質科学研究の裾野拡大に加え、研究テーマ創生を加速する体制を整備する
- 外部学術機関の知見やノウハウを取り込み、研究成果につなげる仕組み・関係を強化する

#### 開発

- 「SI-6603」を筆頭とする現行パイプラインの早期ステージアップを図る
- 複数テーマを並行開発できる体制を構築する
- グローバルな開発にも対応可能な組織力を強化する

#### 生産

- 生産設備建設計画を着実に推進し、最適生産体制を確立する
- 生産効率化により、コストダウンや欠品リスクを低減させる
- 震災発生時などの有事の際に備え、在庫保有方針を見直し、物流体制を強化する

#### 販売

- 既上市製品の競争力を活かして、販売を拡大する
- 変形性ひざ関節症の疾患啓発活動等を推進し、市場拡大を図る
- 中国をはじめとする海外成長市場での拡販に努める一方で、新興市場開拓努力を強化する

### ●数値目標

2015年度  
目標

売上高

315 億円

営業利益

30 億円

数値目標の前提条件

- ・減価償却費の上昇 (2015年度がピーク)
- ・研究開発費の増加 (対売上高比率: 20～30%)
- ・薬価改定(2012年度、2014年度)
- ・為替レート: 対米ドル81円

新中期経営計画では、10年ビジョン達成に向けた萌芽形成を目的として、重点戦略に対して積極的な投資を行っていきます。そのため、設備新設に関する減価償却費や研究開発費などが高水準となり、業績的には厳しい期間となります。ただし、次の第3ステップでは、腰椎椎間板ヘルニア治療剤「SI-6603」やドライアイ治療剤「SI-614」の発売、新興市場の開拓効果に加えて、減価償却費の減少などもあり、上昇軌道に入っていく計画です。

**新中期経営計画の期間において確実に成果の芽を出し、果実が得られるよう、一丸となって取り組んでまいります。**

## 決算の概況

当期：2011年4月1日～2012年3月31日 前期：2010年4月1日～2011年3月31日

(百万円)

科目	当期	前期	増減率
売上高	27,082	27,117	-0.1%
営業利益	4,617	3,533	+30.7%
経常利益	4,770	4,159	+14.7%
当期純利益	3,270	2,451	+33.4%
研究開発費	5,970	6,723	-11.2%

### 売上高／270億8千2百万円(前期比0.1%減)

円高や研究用試薬事業廃止による減少を、海外および国内における関節機能改善剤の販売数量増加で補ったことにより、売上高は、前期とほぼ同程度の270億8千2百万円となりました。

※セグメント別の売上概況については7～8ページをご覧ください。

### 営業利益／46億1千7百万円(前期比30.7%増)

売上高は前期並みとなりましたが、高萩工場第4製剤棟の減価償却費等の原価が減少したことなどから、売上総利益は増加しました。さらに腰椎椎間板ヘルニア治療剤「SI-6603」に関して米国治験費が増加した一方で、前期の国内治験費一括計上のような特別要素がなかったことなどにより、研究開発費が減少したため、営業利益は、前期比30.7%増の46億1千7百万円となりました。

なお、当期における研究開発費は、前期比11.2%減の59億7千万円となり、対売上高比率は22.0%となりました。

### 当期純利益／32億7千万円(前期比33.4%増)

経常利益は前期に発生した一過性の受取ロイヤリティー収入がなかったことなどから、前期比14.7%増の47億7千万円、当期純利益は東日本大震災関連の特別損失が減少したことから、前期比33.4%増の32億7千万円となりました。

## 財政状況

当期末：2012年3月31日 前期末：2011年3月31日

(百万円)

科目	当期末	前期末	増減額
流動資産	30,812	26,714	+4,098
固定資産	37,917	35,969	+1,948
資産合計	68,730	62,684	+6,046
流動負債	8,974	4,773	+4,201
固定負債	1,742	1,803	-61
負債合計	10,717	6,577	+4,139
純資産合計	58,013	56,106	+1,906
負債純資産合計	68,730	62,684	+6,046

### ■資産の部

高萩工場第5製剤棟建設開始などの設備投資に伴い「有形固定資産」が増加したことなどから、前期末と比べ60億4千6百万円増の687億3千万円となりました。

### ■負債の部

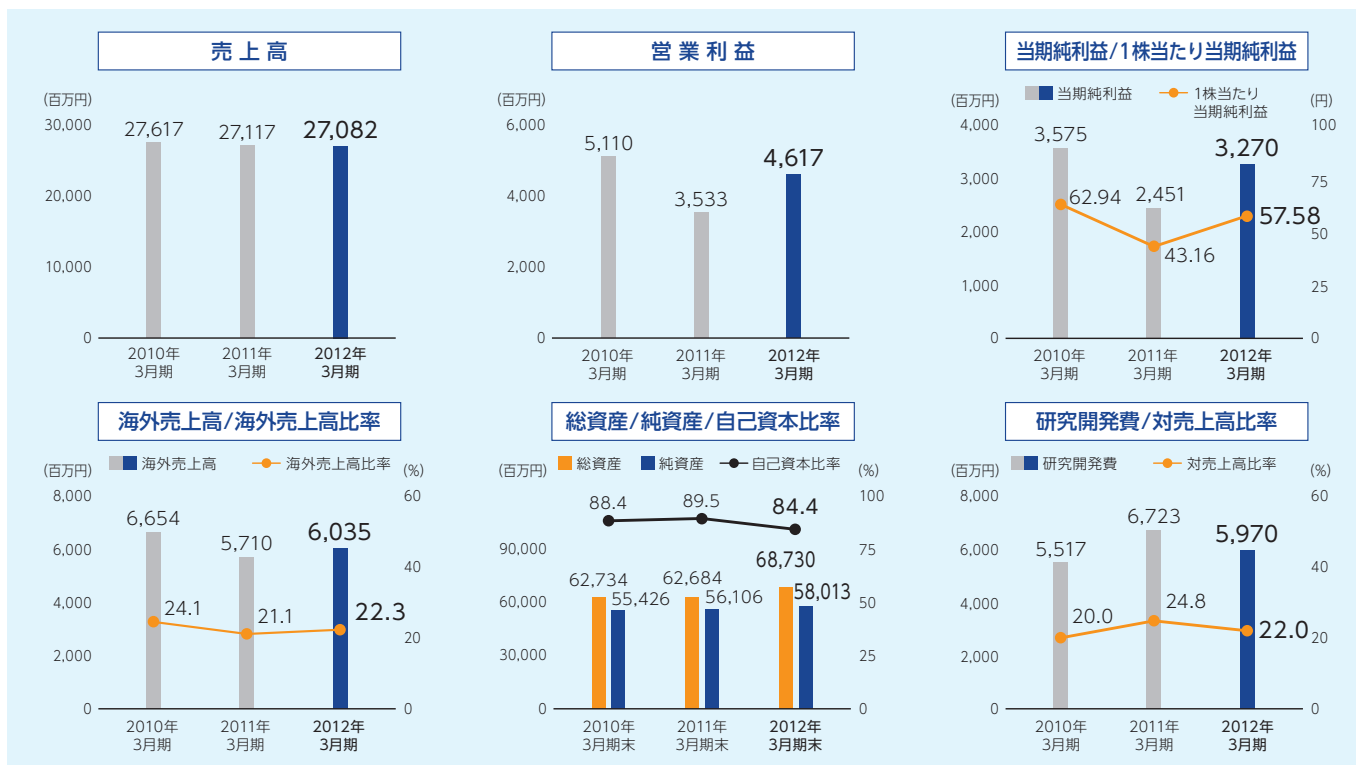
設備投資に伴う「未払金」や利益の増加により「未払法人税等」が増加したことなどから、前期末と比べ41億3千9百万円増の107億1千7百万円となりました。

### ■純資産の部

「利益剰余金」が増加したことなどから、前期末と比べ19億6百万円増の580億1千3百万円となりました。

財務諸表など業績に関する詳細は、当社ホームページの株主・投資家向け情報サイトをご覧ください。

<http://www.seikagaku.co.jp/ir/index.html> (決算説明会の動画も視聴できます。)



## 来期の見通し

科目	2013年3月期見通し	増減率
売上高	26,700	-1.4%
営業利益	2,600	-43.7%
経常利益	3,100	-35.0%
当期純利益	2,200	-32.7%
研究開発費	6,700	+12.2%

※為替レートは、対米ドル81円を前提としています。

売上高は、国内におけるアルツの販売数量増を見込むものの、約7%の薬価引き下げや研究用試薬事業廃止に伴う減少があり、前期比1.4%減の267億円を予想します。

利益については、薬価引き下げの影響や、コンドロイチン硫酸製造設備稼働に伴う減価償却費の増加などにより売上総利益が減少することに加え、主に各開発テーマの進捗に伴う研究開発費や、販売数量増に伴う営業関連費用が増加することから販売費及び一般管理費の大幅な増加を見込み、営業利益は26億円(前期比43.7%減)、経常利益は31億円(同35.0%減)、当期純利益は22億円(同32.7%減)を予想します。

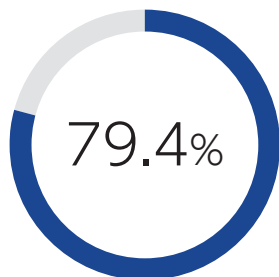
なお、研究開発費の予想は67億円(同12.2%増)で、対売上高比率は25.1%となります。

生化学工業は、ヒアルロン酸製剤を中心とした医薬品事業を柱に、世界をフィールドとした事業展開を行っています。

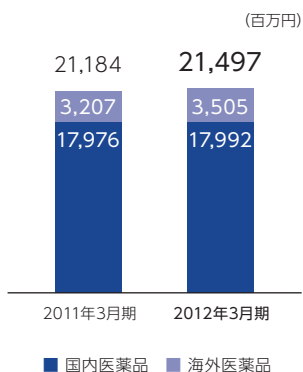
## 医薬品事業

ヒアルロン酸を主成分とした医療用医薬品・医療機器の製造・販売を展開する、当社のコア事業です。

### ■ 売上高構成比



### ■ 売上高



### ■ 当期の業績

#### 国内医薬品 売上高179億9千2百万円 (前期比0.1%増)

関節機能改善剤の国内市場は、高齢者人口の増加や、販売提携先の科研製薬株式会社とともに疾患啓発活動を継続したことにより拡大しましたが、震災による受診手控えの傾向などがあり、前期と比較して市場拡大率は緩やかになりました。このようななか、**アルツ**は、先発品としてのブランド力を活用した拡販に注力したことで医療機関納入本数が増加し、市場シェアは拡大しました。当社売上はプラスチック容器の新規投入により、前期における販売提携先向けの出荷が高水準であったことから、微増に留まりました。

眼科手術補助剤**オペガン**は、販売提携先の参天製薬株式会社と連携して、引き続きターゲットを絞った販売促進活動に努めましたが、震災の影響による白内障手術件数の減少や競合激化により減収となりました。

内視鏡用粘膜下注入材**ムコアップ**は、震災の影響による内視鏡手術件数の伸び悩みが見られましたが、販売提携先のジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社とともに、内視鏡手術の手技を浸透させる啓発活動に注力したことで売上を伸ばしました。

#### 海外医薬品 売上高35億5百万円 (前期比9.3%増)

米国向け関節機能改善剤**スパルツ**は、大手保険会社による償還厳格化の影響がほぼ一巡したことに加え、競合品との差別化に特化した販売施策が奏功し、現地販売は増加に転じました。当社の輸出売上も、販売数量の伸びが円高の影響をカバーして増加しました。また、中国向け**アルツ**は、主要都市の医療機関を中心に「高い品質」や「世界初のオリジナル製品」であることが評価されており、引き続き売上を伸ばしました。



### 関節機能改善剤

## 「アルツ®・アルツディスポ®・スパルツ®」

アルツは、関節液にヒアルロン酸が含まれていることに着目して開発した、世界初のヒアルロン酸を主成分とする関節機能改善剤です。関節内に投与することにより、中高年層に多い「変形性ひざ関節症」「肩関節周囲炎」「関節リウマチにおけるひざ関節痛」の症状改善に寄与します。



SUPARTZ®  
(スパルツ®)

アルツディスポ®  
関節注25mg

### 眼科手術補助剤

## 「オペガン®・オペガンハイ®」

ヒアルロン酸の高い粘弾性により眼内空間の保持や角膜内皮細胞を保護し、白内障手術をサポートする眼科手術補助剤です。



### 内視鏡用粘膜下注入材

## 「ムコアップ®」

優れた粘弾性を持つヒアルロン酸の特性を活かした、内視鏡手術の補助材です。

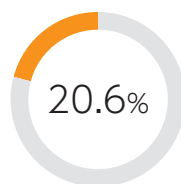


## 機能化学品事業

エンドトキシン測定用試薬、医薬品原体などの製造・販売を国内・海外で展開しています。

### ■ 売上高構成比

### ■ 当期の業績



機能化学品 売上高55億8千4百万円 (前期比5.9%減)

海外での品質管理向けエンドトキシン測定用試薬などが堅調に推移したものの、円高の影響に加え、研究用試薬事業を廃止したことから売上は減少しました。

### エンドトキシン測定用試薬

### 医薬品原体



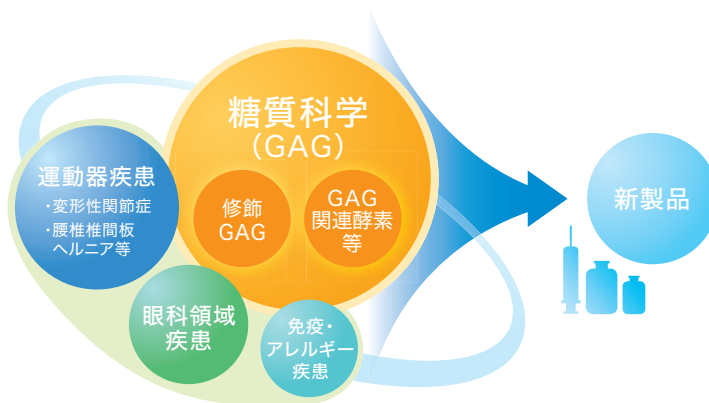
### 生化学バイオビジネスを吸収合併

2012年4月1日に機能化学品事業を担う子会社である生化学バイオビジネス株式会社を吸収合併しました。運営体制を一体化させ、さらなる事業発展を目指していきます。

生化学工業は、専門分野としている糖質科学に研究開発の焦点を合わせて、新製品の早期かつ継続的な上市を実現するために、自社開発・開発品導入をバランスよく推進するとともに、内外のネットワークの強化や組織体制の整備にも努めています。

## 研究開発基本方針

当社は、対象物質や重点疾患を絞り込んだ効率的な研究開発活動を推進しています。対象とする物質は、当社が長年携わってきた複合糖質の主要成分のひとつであるグリコサミノグリカン (GAG) です。また、アルツの開発、製造、販売を通じて培ってきた技術や経験が活かせる運動器疾患をはじめ、眼科領域疾患、免疫・アレルギー疾患を重点疾患としています。さらに、開発パイプラインの拡充のために、他社からのテーマ導入にも取り組んでいます。



## 開発パイプラインリスト

開発コード・物質名	適応症等	開発地域	前臨床	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請
SI-6603 コンドリアーゼ	腰椎椎間板ヘルニア	日本				●	
		米国			●		
SI-657 ヒアルロン酸	腱・靭帯付着部症 (アルツの適応症追加)	日本			●		
SI-614 修飾ヒアルロン酸	ドライアイ	米国			●		
SI-615 アデノシンA3レセプターアゴニスト	関節リウマチ	日本		●			
SI-613	関節疾患領域			●			

※SI-636 (抗VAP-1モノクローナル抗体) は、2012年4月に導入元のピオティエ セラピーズ社とのライセンス契約を終了し、当社での開発を中止しました。

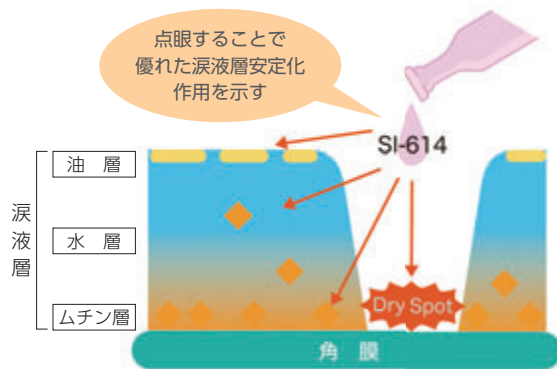
## ◎ [SI-614] 米国における第Ⅱ相臨床試験を開始

当社が研究開発における重点疾患のひとつに定めている「眼科領域疾患」に関するテーマとして、2012年3月から米国においてドライアイを適応症とする点眼剤「SI-614」の第Ⅱ相臨床試験での投与を開始しました。

「SI-614」はヒアルロン酸を当社独自の技術により修飾し、優れた涙液層安定化作用を付与した物質です。点眼することにより、ドライアイ患者に見られる涙液層（油層、水層、ムチン層）の不安定性や、付随する諸症状を改善することが期待されます。

米国におけるドライアイ向け医療用点眼剤は、抗炎症治療薬の1種類のみが承認されている状況であることから、既存治療薬と異なる作用を持つ「SI-614」を上市させることで、治療オプションの充実を目指します。

### 「SI-614」の特徴



### ドライアイとは？

ドライアイは眼の不快感や視機能異常を伴う慢性疾患です。眼の酷使や加齢などにより涙液量の減少や涙液層の質が変化し、角膜上の涙液層の安定性が崩れ、眼球表面が乾燥することによって発症すると考えられています。

### 「SI-614」の対象患者数

米国では2,000万人以上がドライアイに罹患しているといわれており、中等度以上のドライアイ患者数は約490万人と推計されています。

## ◎ [SI-6603] 日本における第Ⅲ相臨床試験での投与を開始

腰椎椎間板ヘルニアを適応症とする「SI-6603」の日本における第Ⅲ相臨床試験での投与を2012年3月に開始しました。この試験は、2010年12月に得られた第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験の結果に加え、腰椎椎間板ヘルニアの症状改善効果と安全性データのさらなる集積を目的として実施するものです。また、米国では第Ⅱ相臨

床試験が順調に進み、第Ⅲ相臨床試験に向けた準備にも着手しています。

なお、2012年5月に、日本における独占販売権に関する基本合意書を科研製薬株式会社と締結しました。正式契約の締結については、2012年中を予定しています。

～2月22日は何の日??～

## 「ひざイキイキの日」を制定し、記念トークイベントを開催

当社はひざの痛みについての正しい情報を一般の方々に発信していくことを目的に、2月22日を“ニーニーニー(Knee=ひざ)”にちなんで「ひざイキイキの日」として制定しました。これを記念して変形性ひざ関節症に関するトークイベントを開催し、関節疾患のスペシャリストである船橋整形外科病院 スポーツ医学センター センター長の土屋明弘先生に変形性ひざ関節症の症状や治療法などについてわかりやすく解説していただきました。

中高年のひざの痛みの原因として最も多い変形性ひざ関節症は、初期の段階から専門医による適切な治療を受けて病気の進行を遅らせることが重要と考えられています。そのためには、患者の方々に「ひざの痛みは変形性ひざ関節症かもしれない」、「適切な治療を受ければ痛みを軽減することができる」という

ことを認識していただく必要があります。

当社では、今後もひざの痛み悩む方々へ正しい知識をご提供するためにWebサイト「ひざイキイキ」などを通じて、変形性ひざ関節症の認知度を高めるとともに、早期発見・早期治療の重要性を呼びかける活動を継続していきます。



土屋明弘先生

これからも  
ひざの痛みについて  
の情報を紹介  
します



2月22日は  
(Knee・Knee・Knee = ひざ・ひざ・ひざ)  
ひざイキイキの日

祝!!  
制定



みんなも  
覚えてね!

ほく、ヒアルンくん。  
ひざの痛みを解決する  
ために、今日も  
がんばっています。



ヒアルンくん

～Web サイト「ひざイキイキ」に新コンテンツ～

## “ヒアルンくんに学ぶ！「日常生活の工夫」”を開設



変形性ひざ関節症に関する情報を幅広く紹介する当社運営のWebサイト「ひざイキイキ」に新たなコンテンツ“ヒアルンくんに学ぶ！「日常生活の工夫」”を開設しました。

日常生活のなかでは、ひざの痛みを感じやすい状況が多く潜んでいます。そこで同コンテンツ内では、日常生活のなかで、できるだけ負担をかけないようにする工夫やポイントなどをヒアルンくんが紹介していきます。その第一弾として、「家の中では、和式よりも洋式の生活スタイルを取り入れる」を掲載しました。ぜひ、当サイトをチェックしてみてください。

ひざに負担をかけない  
日常生活のポイント

- 床に座らずにいすをつかう
- ベッドをつかう
- 階段は手すりをつかう
- トイレは和式より洋式

詳しくはWebサイトへ！



洋式の  
生活スタイルが  
いいんだね！

## 株主優待制度のご案内

株主の皆さまのご支援に感謝の意を表すとともに、当社株式への投資魅力をさらに高め、長い期間保有していただくことを目的として、2009年より株主優待制度を導入し、株主さまの保有期間\*の区分に応じ、QUOカードを贈呈しています。

\*保有期間は、毎年3月31日を基準日とし、同一株主番号で継続して当社株主名簿に記録されている期間とします。

**対象株主**  
毎年3月31日現在の株主名簿に記録された当社株式100株(1単元)以上保有の株主さま

- 3年以上保有…………… 3,000円相当
- 1年以上  
3年未満保有…………… 2,000円相当
- 1年未満保有…………… 1,000円相当



グリーンシューズカード

QUOカードは、1枚につき約6kgのCO<sub>2</sub>削減に貢献できる価値を付加したグリーンシューズカードです。当社は、社会貢献活動の一環として、グリーンエネルギー事業などに対し、1枚につき50円の寄付を行っています。

## 会社概要 (2012年3月31日現在)

社名	生化学工業株式会社
創立	1947年(昭和22年)6月2日
資本金	38億4,040万円
従業員数	644名(連結ベース)
事業内容	複合糖質を中心とした医療用医薬品、 医療機器等の製造および販売

## 所在地

### 本社

〒100-0005  
東京都千代田区丸の内一丁目6-1  
丸の内センタービルディング  
TEL: 03-5220-8950

### 中央研究所

〒207-0021  
東京都東大和市立野三丁目1253  
TEL: 042-563-5811

### 久里浜工場

〒239-0831  
神奈川県横須賀市久里浜七丁目3-1  
TEL: 046-835-3311

### 高萩工場

〒318-0001  
茨城県高萩市大字赤浜字松久保258-5  
TEL: 0293-23-1181

## 役員 (2012年6月19日現在)

代表取締役社長	水谷 建	常勤監査役	金子 健志
代表取締役専務取締役	矢倉 俊紀	常勤監査役	三富 得司
常務取締役	宮本 政臣	社外監査役	竹内 信博
社外取締役	片山 英二	社外監査役	佐藤 順哉
取締役常務執行役員	川村 秀樹	社外監査役	山田 明文
取締役常務執行役員	大西 和明		
取締役	福本 安志		
取締役	石川 慎一		

## 事業所

### 中央研究所

創業研究の要として、先進設備を揃え、充実した環境のもと、研究者の創造性を重視した運営を行っています。



### 久里浜工場

医薬品原体(ヒアルロン酸やコンドロイチン硫酸)などを製造しています。



### 高萩工場

アルツ、オベガンの製造を行っています。生産能力増強を目的として第5製剤棟の建設を開始しました。



## グループ会社

ASSOCIATES OF CAPE COD, INC.  
(アソシエーツ オブ ケープ コッド インク)

エンドトキシン測定用試薬の開発を世界で初めて成功させ、米国食品医薬品局(FDA)から承認を取得した試薬専門メーカーです。米国マサチューセッツ州ファルマスに本社をおいています。



# 株式の状況

## 株式数および株主数 (2012年3月31日現在)

発行可能株式総数	234,000,000株
発行済株式の総数	58,584,093株
株主数	17,343名

## 大株主の状況 (2012年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1 新業株式会社	7,843	13.8
2 株式会社開生社	7,293	12.8
3 ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー	4,460	7.9
4 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (三菱化学株式会社退職給付信託口)	3,105	5.5
5 資産管理サービス信託銀行株式会社 (みずほ信託退職給付信託みずほ銀行口)	1,973	3.5
6 株式会社三菱東京UFJ銀行	1,536	2.7
7 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,172	2.1
8 科研製薬株式会社	807	1.4
9 有限会社桐栄興産	700	1.2
10 公益財団法人水谷糖質科学振興財団	693	1.2

※持株比率は自己株式(1,776千株)を控除して計算しています。

## 株主メモ

- **事業年度**  
4月1日～翌年3月31日
- **定時株主総会**  
6月
- **配当金受領株主確定日**  
3月31日(なお、中間配当を行う場合の  
確定日は9月30日)
- **基準日**  
定時株主総会については、3月31日  
その他必要があるときは、あらかじめ  
公告する一定の日

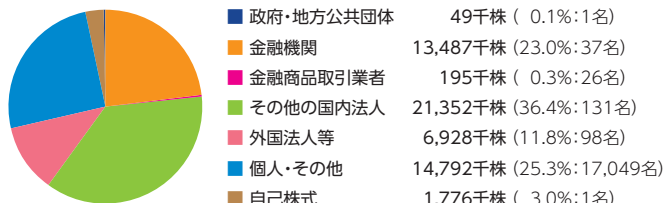
- **株主名簿管理人／  
特別口座の口座管理機関**  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4-5  
《株式事務に関するお問い合わせ》  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10-11  
TEL: 0120-232-711(フリーダイヤル)  
ホームページアドレス  
<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

- 《住所変更等のお手続》  
株主さまのお取引の証券会社  
ただし、特別口座に登録された株式に関する  
お手続は三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代  
行部(左記)で受け付けます。

- 《未払配当金受領のお手続》  
三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

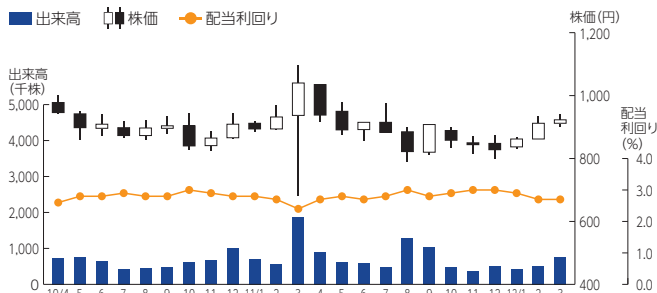
- **公告方法**  
電子公告掲載ホームページアドレス  
<http://www.seikagaku.co.jp/ir/kk.html>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によっ  
て電子公告による公告をすることができない  
場合は、日本経済新聞に公告します。

## 所有者別株式分布状況 (2012年3月31日現在)



※その他の国内法人には証券保管振替機構名義株式(4千株)が含まれています。

## 株価および出来高推移



# ひざイキイキ掲示板

Web  
サイト



変形性ひざ関節症に関する情報を幅広く紹介しています！ぜひ、ご覧ください。

ひざイキイキ

検索

<http://www.ehiza.jp/>



Webサイト「ひざイキイキ」には「脚を上げるトレーニング(応用編)」もあるよ！



変形性ひざ関節症を予防しよう！

## おうちでできる簡単エクササイズ

いつまでもイキイキとしたひざであるために、毎日の生活のなかで無理のない適度な運動を続けましょう！

### 脚の筋肉を鍛えるトレーニング方法

#### — 脚を上げるトレーニング —

- ① いすに腰かけ、ひざは曲げておきます。
- ② 片方の脚だけ足首を直角に曲げたまま、ひざを無理のないように伸ばします。
- ③ ひざを伸ばした方の脚をゆっくりと上げて床から10cmのところまで5~10秒間止めます。その後、ゆっくり下ろします。
- ④ ③の動作を20回繰り返し、反対側も同様に行います。



生化学工業株式会社

<http://www.seikagaku.co.jp/>



本冊子は、FSC®認証紙を使用し、「Non-VOC」の大豆油を主体とした植物油系インキを使い、「水なし印刷」で印刷しています。